

企画番号：4

企画タイトル：ICPC（ACM 国際大学対抗プログラミングコンテスト）で 予選突破を目指す

概要

1. 目的

3人チームで問題に取り組むことで協調力を、競技プログラミングをするにあたって必要なアルゴリズム、また論理的思考力の獲得を目標とする。

2. 計画

ICPC(ACM 国際大学プログラミングコンテスト)は6-7月に開催される予定であるのでこれにあわせて勉強会を行いアルゴリズムの習得を試みる。また教材学習だけでなく Atcoder とコンテストサイトを用いてアウトプットの機会を設けることで学習の定着を図る。具体的な活動時間は毎週のコンテストが2時間あり、その復習で2時間、学習で2時間以上は確保する予定である。

3. 経過

アルゴ式というサイトでアルゴリズムとプログラミングの学習を行った。また各自可能であれば週末に Atcoder にて実施される Atcoder Beginners Contest に参加した。個人学習だけでなくグループで集まり、学習の進捗状況を報告しあい個人に合わせた学習内容を決定したりした。また質問をしあうことで知識の共有を図った。本番では個人ごとに担当問題の役割分担を行い、わからない問題はグループで共有し解決に努めた。

4. 成果・結果等

本活動を通じて、コミュニケーションの重要性について気づかされた。本番までの学習段階では十分なコミュニケーションをとれていたが、本番であらかじめ問題の担当者を決めていたせいか、担当問題がわからない状態でもなかなか言い出しにくい状況をつくってしまった。我々の場合は問題別に分担するのではなくチーム全員で意見を共有し1つの問題に取り組んだ方が結果は良かったのではないかと考えている。本番のコンテストの結果は1問正解にとどまってしまった。2問目はプログラムが完成間近の状態を終了時間を迎えたため、チームで問題設定の把握からディスカッションしていればと解答戦略を間違ったことを悔やむ結果となった。しかし学習段階からチームで話し合う機会を設けていたので本番では質問するのには時間を要したが質問時には端的にわからない箇所を伝えることができていたので、コミュニケーション能力の向上は本活動で得られたのではないかと考えている。またプログラミングについてもあまり知識がない状態から始めた者もいたが最終的には1人で実装し解答できるレベルまで成長することができていたので当初の目的はおおむね達成できたと思う。